

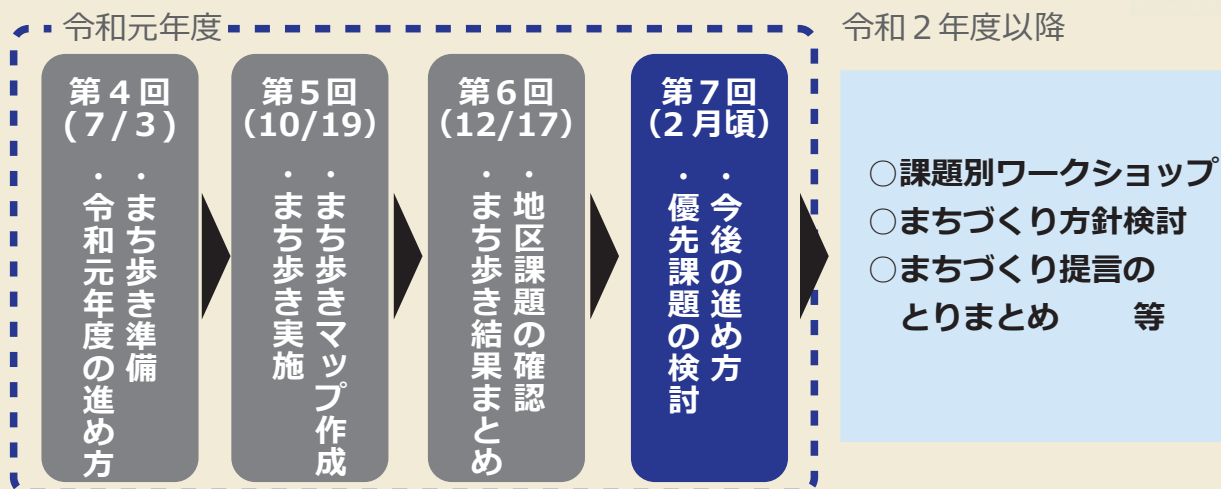
今後の活動予定

2月頃に実施する第7回まちづくり協議会では、まち歩き等で出た地区課題から優先的に取り組むテーマについて、検討していく予定です。

令和2年度以降は、課題別ワークショップ等を行いながら、長崎五丁目地区のまちづくりの方針をまとめることを第一目標とします。

その後、計画案作成や実現に向けた活動へ移行していきます。

■今後のスケジュール



五丁目地区の
様々な課題について、
検討しています！



協議会委員を募集しています！

長崎五丁目地区まちづくり協議会では、**随時、会員を募集**しています。

長崎五丁目地区にお住まいの方で、**防災まちづくりにご興味のある方**はどなたでも参加できます。事務局（下記問い合わせ先）までご連絡ください！



内容にご興味をお持ちの方は
今後の協議会へ
是非ご参加ください！

発行：長崎五丁目地区まちづくり協議会
 問合せ先：豊島区 都市整備部 地域まちづくり課
 【電話】03-3981-3449（直通）【FAX】03-3980-5135
 【e-mail】A0022706@city.toshima.lg.jp
 編集協力：株式会社 地域計画連合



長崎五丁目地区

まちづくり協議会だより

Vol.2

令和元年12月発行

長崎五丁目地区では平成30年9月26日にまちづくり協議会を発足させ、地元住民が中心となり、安全で住みよいまちを目指して活動を始めました。

第1回から第4回では、役員の選出や今後の活動内容の確認等を行いました。第5回まちづくり協議会では、委員の皆さんで長崎五丁目の地区内を歩きながら、問題点や資源等を確認し、地区の現状を把握しました。

今回の協議会だよりでは、第5回協議会で行われたまち歩きの結果をご報告いたします。

回数	日付	主な活動内容
第1回	H30年度 9/26	協議会設立、今後の進め方
第2回	11/26	役員選出、会則の承認
第3回	2/5	現状と昨年度の主な意見、今後の進め方
第4回	R1年度 7/3	令和元年度の進め方、まち歩き準備
第5回	10/19	まち歩き実施・まち歩きマップ作成
第6回	12/17	まち歩き結果まとめ、優先課題の検討



協議会の様子

まち歩きを行い、まち歩きマップを作成しました！

10月19日（土）に行われた第5回協議会でまち歩きを実施しました。まち歩きでは、まちの問題点や資源を確認し、「改善が必要なところ・問題点」「残したいところ・資源」を地図に取りまとめ、まち歩きマップを作成しました。

今後は、まち歩きの結果をもとに優先課題について、協議会内で議論を重ねていきます。

■当日の流れ

1 まち歩き

2グループに分かれ、各自気になるものや場所を地図に書き込みながら、約1時間をかけて、地区内を歩きました。



まち歩きの様子

2 まち歩きマップの作成

まち歩きで気づいた内容を付箋や写真を用いながら、大判の地図に取りまとめ、まち歩きマップを作成しました。



まち歩きマップの作成

3 各グループの発表

各グループで作成したまち歩きマップを、発表しあい、参加者全員で点検した内容を確認しました。



発表の様子

普段歩いてる
まちでも
まち歩きで改めて
気づくことも
あったね！



「まち歩き結果のまとめについては、中面をご覧ください。」

長崎五丁目地区 まち歩きマップ

(2019.10.19 時点)

改善が必要なところ・問題点

- 公園のメンテナンスをしてほしい
(桜の中が腐っている)
- 防災倉庫の中身がわからない。
いざというときに使えるようにしたい
- 道路標識の位置を改善してほしい
- 補助 172 号と千川通り交差点
▶安全面不安。今後、交通量増加で危険増す。
- 立教通りから続く東西道路
▶車通りが多いが幅員狭い。拡幅以外の解決策はないか。
- 防災行政無線屋外拡声器の音が聞き取れない

【共通】

- 見通しの悪い交差点
▶順次改善が必要
- 住宅街の中に 4m 未満の私道が多いことに気づいた
▶自転車が多く、カーブミラーが必要
- 危険なブロック塀、万年塀が存在する
- ブロック塀は区独自の厳しい規制を作っても良いのでは
- ブロック塀等の緑化を進めてほしい
- 風水害に関する不安がある
- AED の使用可能時間がわかるとよい
- ミニ開発を取り締まるべき
- 補助 172 号開通後、抜け道となる可能性大
- 広域的な視点で交通問題を議論すべき
- 補助 172 号線の計画が完成しないとまちの全体像が見えない
- 4 m 未満の細街路が多い

- 交通規制・速度制限が必要
- 路面標示 (+・T) は私道も含めなくては意味を持たないのでは
- 新築時のセットバック・隅切りの徹底が必要
- 電柱・電線の処理の方法検討すべき
- 空き家活用・対策の検討が必要



ブロック塀



道路標識



千川通り



長崎第五集会室



長五さくら公園



地域防災組織資器材格納庫
(長五さくら公園内)

残したいところ・資源

- 長崎第五集会室
▶災害時の一時避難施設としても活用したい
- 長五さくら公園
▶憩いの場として残したい
- 駅前広場は広く、大事な財産
駅近にもう一カ所くらい広場があるとよい
- 東急ストアから千川通りに抜ける道路
▶172 号線整備後は、歩行者優先道路として活用したい
- 南北道路
▶地元、警察、区で協議し、自転車事故防止のため、道路標識を設置するなど 安全性を高めた道路

【共通】

- 個別建替が進んでおり、まち全体が明るくなっている印象
- 消火器が適度に設置されている
- 車が少なく歩きやすい

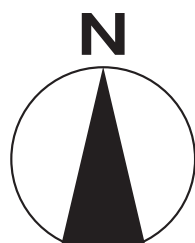
〈防災設備等〉

- AED※1
- 防災井戸※1
- 貯水槽※1
- 地域防災組織資器材格納庫※1
- 救援センター※1
- 消火栓※2
- 消火器※3
- 防災行政無線屋外拡声器※1

〈その他〉

- まち歩きルート
- 新築・工事中※3
- 通学路
- 防災生活道路
- 建物※4
- 耐火構造
- 道路幅員※4
- 2.7m未満
- 2.7~4.0m未満

※1 豊島区防災地図をもとに作成
※2 東京消防庁 HP をもとに作成
※3 ルート上の現地調査をもとに作成
※4 H28 年都市計画基礎調査 (一部修正)



0 100 200 m